

Syllabus Id	syl.-0622381
Subject Id	sub-062-403800
作成年月日	2006.1.16
授業科目名	工業英語 [工英] English for Engineers
担当教員名	佐竹利文
対象クラス	制御情報工学科4年
単位数	1学修単位
必修/選択	必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	高学年講義棟1F S4HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

産業活動のグローバル化に伴い、技術情報の交流やコミュニケーションの手段として工業英語の正しい理解と活用が学界ならびに産業界において必須のものとなっている。本講義は、工業英語の実践力の向上を目標として演習を主体に進め、受講生に文部科学省認定工業英検4級の取得を奨励する。

準備学習(この授業を受講するときの前提となる知識)

4学年までの英文法、英単語力ならびに機械工学、電気電子工学、化学、情報工学の基礎知識

学習・教育目標	Weight	目標
		A
	B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
	C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D 国際的な受信・発信能力の養成
	E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

D:コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力を身につける。

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. 工業英語の基礎単語900語の和訳ができる。
2. 工業英語の基本的文章の英訳ができる。
3. 工業英検4級が取得できる。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参
第1回	オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法、基準等の説明	
第2回	物の名前/単数・複数		

第3回	複合語／物の数え方		
第4回	基数詞／序数詞・倍数		
第5回	度量衡の単位・時間 1		
第6回	度量衡の単位・時間 2		
第7回	前期中間試験		
第8回	数学／数式 1		
第9回	数学／数式 2		
第10回	助動詞による英語表現 1		
第11回	助動詞による英語表現 2		
第12回	現在完了形の英語表現 1		
第13回	現在完了形の英語表現 2		
第14回	位置・方向・形 1		
第15回	前期末試験		
第16回	オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準等の説明	
第17回	位置・方向・形 2		
第18回	運動／状態 1		
第19回	運動／状態 2		
第20回	文と文をつなぐ表現 1		
第21回	文と文をつなぐ表現 2		
第22回	関連的・付加説明の表現		
第23回	後期中間試験		
第24回	比較・順序		
第25回	尺度と基準		
第26回	受動態や仮定法の表現法		
第27回	受動態や仮定法の表現法		
第28回	目的や理由表現法		
第29回	主語・修飾関係の表現法		
第30回	後期末試験		×

評価方法：

1. 工業英語の基礎単語 900 語の和訳の到達度について単語試験で確認する。
2. 工業英検 4 級程度のリーディング、ライティングの力がついているかどうかについて、講義の中の演習と試験で評価する。

評価基準：

前期中間試験 20%、前期末試験 20%、後期中間試験 20%、後期末試験 20%、演習の理解度 20%

教科書等	文部科学省認定 工業英検 4 級対策 (社)日本工業英語協会
先修科目	4 学年までの総合英語ならびに機械工学、電気電子工学、化学、情報工学の基礎知識
関連サイトの URL	
授業アンケートへの対応	演習的な内容については、個別に対応できるような授業体制をとる。
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。